



青空のある あたたかい高知へ きてください。

「子どもとそのご家族」避難受け入れについて

このたびの東北関東大震災では観測史上最大規模の地震と津波が発生し、被害も過去最大級であるということが判明してまいりました。被災されました皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

また、震災により尊い命を無くされました皆様のご冥福を謹んでお祈りし、ご遺族の皆様には深くお悔やみを申し上げます。

現在も余震が続き、また原発災害によりさらに被害が深刻化している中、私たちNPO法人黒潮実感センターでは、被災された地域の復興には長期間を要すと考え、中長期にわたる災害支援活動として「教育活動」を通じた災害支援を行いたいと考えています。

これは私たちがこれまで12年間行ってきた、環境教育や体験学習を通じたノウハウを使った支援と言うこととなります。

被災された方々、特に子ども達を心的ストレスから開放し、いち早く平常時の生活を取り戻し、学校での授業が受けられるように下記の取り組みを行います。

・受け入れ家族または人数 4家族程度

※廃校となった旧柏島中学校を大月町からお借りして使用しています。

※2階の教室を半分に仕切った部屋(畳約12畳相当)を各部屋1家族に割り当てします。 ※お風呂あります(共用)

・受け入れ団体

NPO法人黒潮実感センター
〒788-0343 高知県幡多郡大月町柏島625
TEL 0880-62-8022 FAX 0880-62-8023

・期間

受け入れ開始時点から数ヶ月～最長1年間
※その間に他の住居があれば斡旋します。

※近隣市町村の宿毛市では公営住宅を提供してくれます。

・食事提供の有無

自炊(家庭科室を利用していただけず)

【教育支援内容】

子ども達の心の傷を癒すべく柏島の美しい海での体験実感学習プログラムを提供します。

柏島のみならず近隣市町村(宿毛市など)に疎開してきた子ども達にも同プログラムを提供いたします。

小学校は地元大月小学校(町内9小学校が統廃合されて一昨年新設された)に通学できます。

ただし柏島からはスクールバス通学(約40分)です。

子ども達の心のケアについては、校長先生を通じてスクールカウンセラーをお願いしました。

健康面でのケアについては、黒潮実感センターのボランティアをしてくださっている柏島在住の保健婦さんが協力してまいります。希望される方は是非ご連絡下さい。



柏島の海



クリアカヌー

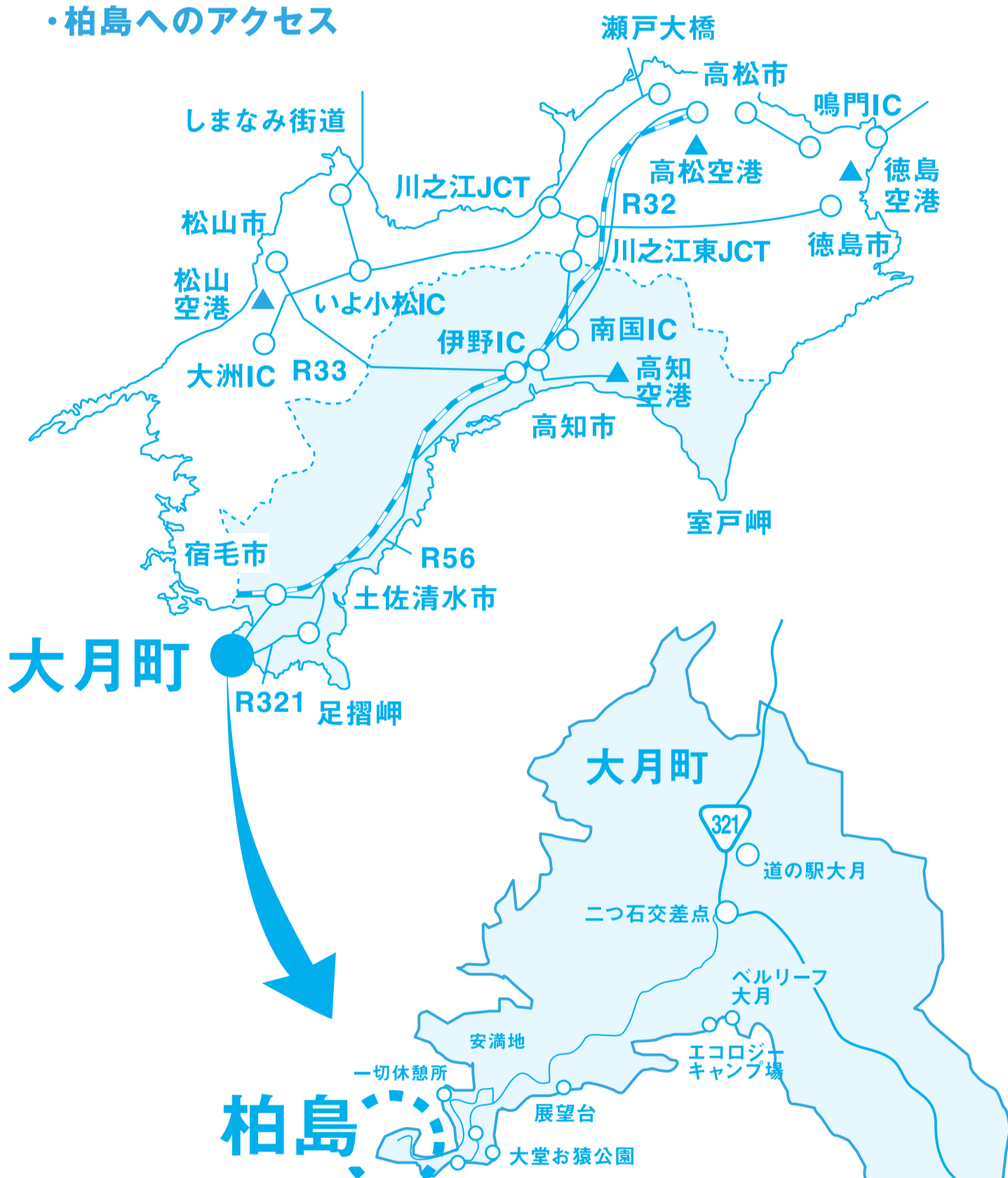


シュノーケリング



高知県幡多郡大月町柏島

・柏島へのアクセス



■ 高知市から

1) JRを使った場合:特急で高知駅から終点宿毛駅まで2時間15分ほど。そこから車で約40分。

2) 車の場合:高知市から約3.5時間
国道56号線で宿毛市まで来て、そこからR321に乗り換え足摺・土佐清水方面に向かい、

途中県道43号線(柏島二ツ石線)に入り17km。

高知自動車道は2011年3月現在、高知から中土佐ICまで開通しました。

■ 京阪神から

1) 鉄道利用の場合:JR新幹線で岡山駅へ
岡山駅からJR特急「南風(なんぷう)」で高知駅へ。

高知駅からJRおよび土佐くろし鉄道に乗り終点宿毛駅へ。

岡山駅～宿毛駅は約4時間半。

宿毛駅からは車で約40分。

2) 飛行機利用の場合:飛行機で高知龍馬空港へ
高知龍馬空港から高知駅までシャトルバスで約50分。

高知駅からは特急で高知駅から終点宿毛駅まで2時間15分ほど。

宿毛駅から車で約40分。

東北関東大震災被災者支援「子どもとそのご家族」協力募金について

本プロジェクトへのご理解と、募金へのご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

【振込先口座】

郵便局

口座名 黒潮実感センター 友の会

口座番号 01670-3-5200

※お振り込み用紙にお名前とご住所を明記してください。

【事務局ご連絡先】

NPO法人黒潮実感センター

〒788-0343 高知県幡多郡大月町柏島625

TEL:0880-62-8022, FAX:0880-62-8023

mail:kuroshio@divers.ne.jp

黒潮実感センターの活動をご支援くださっている方々の、長期にわたるご協力をお願いいたします。

2011年3月22日
NPO 法人黒潮実感センター 理事長 立川 涼